

月報 岡崎の教育

11月号

平成4年11月1日

発行 / 編集
岡崎市教育委員会

ただの一個のひょうたんの。

薄緑の
ひよるんとしたひょうたんの中には
未知がいっぱいいまつていて、
探險者に見つけられる日を
待ちかねている。

（中身）

アギ、
これアギだよ。
ひよるんとしたひょうたんの
命名者が宣言する。

中、フルーツ入ってる?
切っちゃう?
じつと見入って顔を上げ、
ひよるんとしたひょうたんに
哲学者も首をかしげる。



(すもう体操 — 美合小)

教育の現場を離れて、漠とした日々を送るなか、管理教育のすすめと題を決め、漠とした随想を書かせていただきます。

歩くことは健康のもと、意気がついた目的地に向かって歩いていた時のこと。前方の停車中のバスより、小さな子が一人二人と飛び降り、これでおしまいの発車?

と思うと一人が飛び出して来るという、ちょっと見には微笑ましい光景が続いていました。私がバス停に達し、バスの中

外からの教育は、仮を彫って魂を入れるは極端な例ですが、管理教育も外から、形から内への教育に属すると思います。

しかし、外のみで「から内へ」を知らずしてか、形を作り飾ることのみに、勞を惜しむことなくよく務め、一生懸命子のために頑張っていると誇らしげにしている教師がいるように思えます。このことが、管理教育は詰め込み教育、個性摘み取り教育と、悪い教育の代表のように

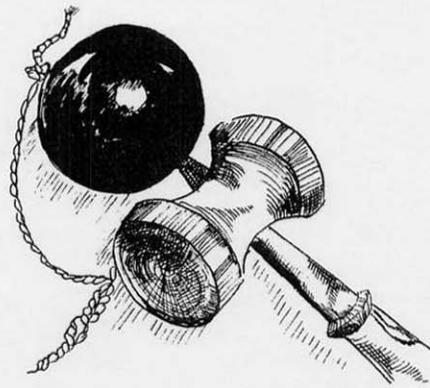
がいるように思えます。

管理教育とは、集団と個人の間の相乗作用により、個人も集団も高め、その中で一番大切な個人の能力を伸長させる教育でしよう。すなわち、他人に迷惑をかけない子、思いやりのある子、友達のつくれる子等に育て、同時に学習面で子供の授業への集中度の高まりと、好ましい状態の家庭学習などを相乘させるなかで、多様化と個人の能力の伸長を図る等、そんな管理と指導をしていく教育でしよう。

『忙』と『忘』

竜谷小学校長

高木 良和



— 教育隨想 —

管理教育のすすめ

元岡崎北高校校長

寛 渡 邊

管理教育をすすめるには、当面する集団および個人の、ちょっとした現象にも気付く高性能アンテナを、教師は必ず持たねばなりません。さらにキャッチした情報の解釈と、子供への対処の仕方は、大変難しいことだととの認識が必要です。したがって、教師は勉強し、豊富な力ををつけねばなりません。勉強するに当つて、莊子に「虚往実帰」の言葉があり、これについて、早大の村山教授は「頭のよしあしは、人が学問や対象に接し、いかに謙虚に接し対応するか」という「物語り」の態度ではないか」と書いておられます。

味わうべき言葉だと思います。

冒頭のバスの校外授業において、今少

し、生物学の態度で、幅広い企画立案をする必要があったのではないでしょうか。

時代と比べると驚くほど満ち足りているようですが、あなたの学校には真的教育がありますか。

と問われて、一瞬たじろいでしまった。

経済大国の日本には、外見として「見るべきもの」が溢れている。しかし、そのような物の豊かさが、「目に見えない大切な物」を忘れさせていないだろうかという御指摘であった。

を見て、「あれ、まだ何人も残っている。これでは……」と思つた時、「先生! 教育は分かるけど、教育は分かるけど、先生一人では……」の運転手さんの苛立つた大声がしました。この日はバスに乗る校外授業の日だったようです。

教育の方法は、外から内への教育(形から)の教育)と、内から外への教育と、大別するときがあります。

は極端な例ですが、管理教育も外から、形から内への教育に属すると思います。

しかし、外のみで「から内へ」を知らずしてか、形を作り飾ることのみに、勞を惜しむことなくよく務め、一生懸命子のために頑張っていると誇らしげにしている教師がいるように思えます。このことが、管理教育は詰め込み教育、個性摘み取り教育と、悪い教育の代表のように

がいるように思えます。

内からの教育は一芸に秀でた人の多くが、外観・言動ともに優れた人物といわれていることで代表されます。

しかし、この内からの教育においても、かつて這い廻り教育と非難された放任教育そのままで、教育は子供が主人公、自尊心尊重の旗を振り、何か忙しく立回る躍と、岡崎の教育の榮を祈念しています。

(わたなべ ゆたか)



学校的施設・設備が整えられ、教育環境が年々充実している。さらに幅広く充実することを、保護者も教師も望んでいる。恥ずかしいことだが、知識のない私は、触ることもできないパソコン、エレクトーンなどの新しい機器もある。

先日、ある小さな会社を経営してみえる六十歳代の紳士とお話しする機会があった。話題が移り、御自分の小学校時代を懐かしみながら、お孫さんの今の小学校とを比較された。

「教育の施設・設備は、私たちの小学校時代と比べると驚くほど満ち足りてい

るようですが、あなたの学校には真的教育がありますか。

と問われて、一瞬たじろいでしまった。

経済大国の日本には、外見として「見るべきもの」が溢れている。しかし、そのような物の豊かさが、「目に見えない大切な物」を忘れさせていないだろうかという御指摘であった。

ふるさとシリーズ

この人に聞く



煎茶道

日下 栄翠 氏

岡崎公園内にあるお茶室「葵松庵」に日下先生をお訪ねした。一年中着物を身につけていらっしゃるという先生に迎えられ、落ち着きのあるお茶室で、お茶の世界についていろいろなお話を伺うことができた。

「明治生まれの母が茶道を習つており、最初はおまんじゅう欲しさについて行つたんです。やつていてるうちにだんだんと、この道に入られたきっかけを語られから今日に至るまで、中断することなく続けてくることができました。」

小さいころからの習い事をさせる利点は、忍耐力がつく事だと自信をもつて語られる。今後の希望をお尋ねした。

「ここまできた煎茶道をなくすことなく続けさせたいことです。何事も失敗を

茶の良さについて次のように語られた。

「やはり日本の文化であるお茶は、礼道でしょうね。心づかいがとても大切なことです。同時に、お茶を飲みながらお話をするひとときが楽しみとなりますね。お茶を飲んでいて、けんかをする方はまずいませんね。日本茶は人の心をなごやかにする力をもっているんです。」

話の途中でも、お客様をもてなすとする細かい気配りが伝わってくる。

先生は抹茶道・煎茶道・華道など多方面で活躍されておられる。その中でも、これからは煎茶道に最も力を入れていきたいとのこと。煎茶道を始めて十四年、今やつと芽が出てきたところだそうだ。

幼稚園の子供たちにも、日本の良さを忘れないでほしいとの願いから、煎茶を教えていらっしゃる。

「小さい時こそしなければならないこととして、「静」と「動」があるのではないかと思います。「動」は、しっかりと遊ぶこと。「静」は、心を静めて事に当たることですね。行事作法としては、「おはよう」「ありがとう」のあいさつ。きれいにお箸を持たせる事など。日本人しかやらない事を真剣に教えるといつています。」

住 所 岡崎市中町一丁目十八
生年月日 昭和十四年十二月一日



して、次に生かす事で進歩があり、やりがいも出てくるものです。私の生き方では、相手に対して一生懸命に尽くす事ですね。

お訪ねした日は、ちょうど中秋の名月に当たり、お月見の日であった。ふとお部屋の床の間に目をやると、そこには、「月」の掛け軸と、すすきと桔梗の花が一輪花瓶に飾られていた。先生のなにげない心づかいと趣のある人間性を感じられた。

毎日の慌ただしい日をすっかり忘れ、心に潤いを感じた。茶道のすばらしさを満喫したひとときであつた。

氏名 くさか えいすい

私たちには、自分の気持ちの持ち方に余裕がなくて、自分を「とても忙しい」に追いつめたり、「その日暮し」を強いるられていると思いこんでいるところはないであろうか。

「忙」の字は心を亡ぼすと書く。また「心」の上に「亡」を置いて、心を亡くすと書くと「忘」にもなる。忙しいと思ふこむと、自分の心を亡くしたり、初心や原点を忘れるがちになるように思う。

忙しい生活を送った人が、晩年自分を木こりに警えて、

「私は、木を切るのに忙しくて、斧を見る暇がなかつた。」

と述懐したそうである。

私たちも「木を切る」という自分の仕事に没頭するあまり、「斧」である自分自身を見つめることを忘れる事はないであろうか。

「忙しい」時こそ、自分を振り返ることを「忘れる」ことはしたくない。

子供たちの一番求めるものは教師といふの輝きではないだろうか。

岡崎の昔話を 伝える寺院



▲水体薬師（正P21のさし絵）

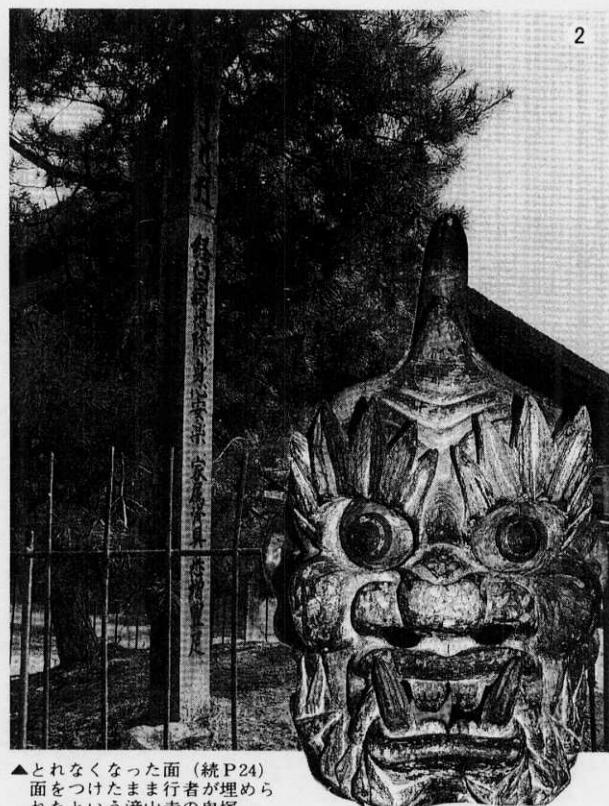
静かな山中に、今もひっそりと祭られている。

歴史の町「岡崎」には、数多くの伝説や昔話が残されている。そこからは、山や川、石や木、孤や狸など、自然を嵩め、素朴な信仰をいだき、感謝の心を持って生きてきた岡崎の人々の息吹が伝わってくる。また、家康にかかわる言い伝えからは、家康の意外な側面を発見することもできる。

こうした郷土の昔話は、昭和四十八年に一冊の本としてまとめられ、昭和五十八年には、正・続二冊の『おかざきのむかしばなし』として集大成された。今から、ちょうど十年前のことである。



▶昭和五十八年、五十九年に刊行の
「おかざきのむかしばなし」



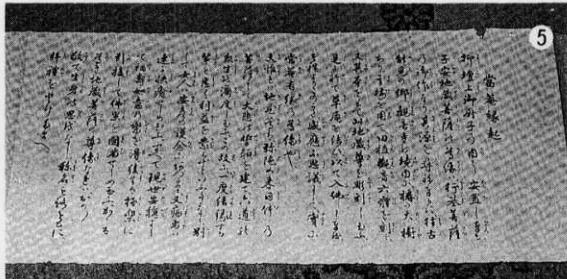
▲とれなくなった面（続P24）
面をつけたまま行者が埋められたという滝山寺の鬼塚。

▶鬼面は運慶、満慶の作といわれる。



▲首われ地蔵さん（正P32）

小呂町の道端にある地蔵には割れ目が見られる。



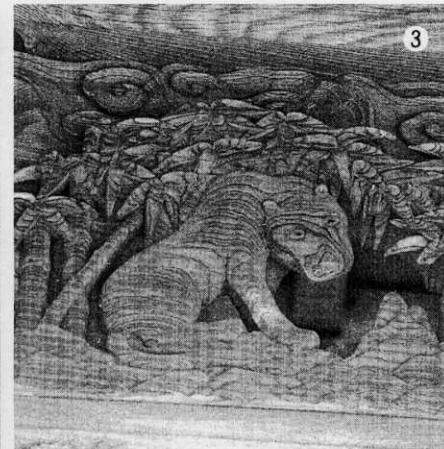
▲川木のおしゃか様（正P68）

話を伝える釈尊寺の縁起書。本尊は7年ごとに開帳される。



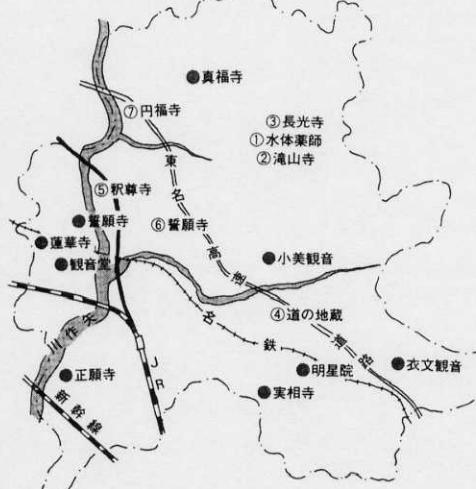
▲誓願寺の大地蔵（続P60）

寺の裏に今も残る台座。地蔵の大きさがうかがわれる。



▲長光寺のとら（正P24）
欄間を抜けて村を荒らしたという虎の彫り物は本堂正面にある。

『おかざきのむかしばなし』に出てくる寺院



▲片目の鯉（正P12）

円福寺山門にある鯉の彫り物。左甚五郎の作と伝えられ、夜になると田を泳ぎ回ったという。

「一年生の時、K君は絶食で果物を食べる」と吐いていたよ。」と言つてきた。そこで、K男の果物を食べている様子を見てみると、口に持つていくだけで食べられない。長い時間をかけて、やつとのことで食べることができた。

ちよつとした
きつかけで

きつかけで

で腹痛、吐き気を訴えることが続いた。

おにぎりを他の子と同じように喜んで食べていた。

六月の中ごろから、朝の健康観察で腹痛や吐き気を訴えるようになった。母親に聞くと、いつも給食の献立を気にしているとのことであった。果物が給食に出ない日でも、朝から気分のすぐれない顔をしていた。

「果物を無理して食べなくともいいよ。」

「先生、今日は梅ジュース飲め
る？おにぎりは？」
と聞いてくる。
ちよつとしたきっかけで、給
食の時間が楽しくなってきたK
男。まだ果物は食べられないが
梅ジュースを飲んでいるときの
K男の笑顔がいつまでも続くこ
とを願っている。そして、いつ
かは果物が食べられるようにな
ることをも。

通称「輕院」は学生数三千余の工業大学。中国の大学は構内に教師と家族、学生の宿舎があり、他にも食堂、商店、浴場、理髪店、映画館、郵便局等がある。ちよととした町のようで、日常の用は構内で済ませられる。私の「学生」は輕院の教師の中で日本語を学習したい人たち。日本語で書かれた専門書で勉強したい、日本へ行って研究した

が、その他の場面では私の方がたくさん教えてもらった。他の職業と比べて収入が多いとは言えない中国の教師。そのことを嘆きながらも「教師には教師の良心というものがあるから、教えることの手抜きはできない。」と言うTさん。故郷を離れてホーリムシック気味の学生を招いて家庭料理を食べさせてやるMさん。卒業して随分たつ教え子の

みにしていた梅ジュースが飲みごろになつた。梅ジュースは校内の梅の実を二年生で採り、シロップ漬けにしたものである。九月から給食の時に、梅ジュース

あれ
あれ

「先生、今日は梅ジュース飲め
る？おにぎりは？」
と聞いてくる。
ちよつとしたきっかけで、給
食の時間が楽しくなってきたK
男。まだ果物は食べられないが
梅ジュースを飲んでいるときの
K男の笑顔がいつまでも続くこ
とを願っている。そして、いつ
かは果物が食べられるようにな
ることをも。

通称「輕院」は学生数三千余の工業大学。中国の大学は構内に教師と家族、学生の宿舎があり、他にも食堂、商店、浴場、理髪店、映画館、郵便局等がある。ちよととした町のようで、日常の用は構内で済ませられる。私の「学生」は輕院の教師の中で日本語を学習したい人たち。日本語で書かれた専門書で勉強したい、日本へ行って研究した

が、その他の場面では私の方がたくさん教えてもらった。他の職業と比べて収入が多いとは言えない中国の教師。そのことを嘆きながらも「教師には教師の良心というものがあるから、教えることの手抜きはできない。」と言うTさん。故郷を離れてホーリムシック気味の学生を招いて家庭料理を食べさせてやるMさん。卒業して随分たつ教え子の

やつばり教師



美川中 牧野 弘美

Hさんは軽院から自転車で一時間の所に住んでいます。屋内は暖房で温かいが、屋外は池も川も凍りついた冬の夜、零下十度を物ともせず休まず通つて来る。Sさんは気候の違いから体調を崩した私を心配して種々の漢方薬を持ってきてくれ、異国の人一人暮らしは寂しいだろうから御飯を食べに来いと声をかけてくれる。

日本語の授業は正規の授業がない午後と夜。「学生」は自分の授業を終えてやって来る。

通称「輕院」は学生数三千余の工業大学。中国の大学は構内に教師と家族、学生の宿舎があり、他にも食堂、商店、浴場、理髪店、映画館、郵便局等がある。ちよととした町のようで、日常の用は構内で済ませられる。私の「学生」は輕院の教師の中で日本語を学習したい人たち。日本語で書かれた専門書で勉強したい、日本へ行って研究した

最初は高い壁のように感じられた言葉や文化や習慣の違いも、お互いに教師だという共通点のお互いでは微々たるものと思われた。改革開放が激速に進む中国。

Rさんは今日も夕食抜きだろうか。太平洋の向こう側で「教師」を見つけてたまらなくうれしい。

美川中牧野弘美

最初は高い壁のように感じられた言葉や文化や習慣の違いも、お互いに教師だという共通点のお互いでは微々たるものと思われた。改革開放が激速に進む中国。

Rさんは今日も夕食抜きだろうか。太平洋の向こう側で「教師」を見つけてたまらなくうれしい。

が、その他の場面では私の方がたくさん教えてもらった。他の職業と比べて収入が多いとは言えない中国の教師。そのことを嘆きながらも「教師には教師の良心というものがあるから、教えることの手抜きはできない。」と言うTさん。故郷を離れてホーリムシック気味の学生を招いて家庭料理を食べさせてやるMさん。卒業して随分たつ教え子の

お知らせ

◆ 健康優良児童生徒



本間由香里	大山	大山	鎌下ゆかり	溝口	大川	市川	熊坂	中学校	杉木かおり	高橋知佐映	柴田	鈴木	吉見	晃子	美香	矢作	六ヶ	新香山	新香山	新香山	常磐	川磐
山田	田	田	志穂綾夏	木竜太	正栄	了	人	学	有	和	裕子	潤士	後藤	雅明	悠貴	大	岡	根	大樹寺	門	北	園
田	田	田	大	大	大	大	大	校	伊藤	村田	島田	倫之	直都	吉見	晃子	六ヶ	岡	根	門	北	南	梅園
由香里	由香里	由香里	大恵	佐々木	大	溝口	大川	市川	由香里	大川	島田	鈴木	吉見	晃子	美香	矢作	六ヶ	新香山	新香山	新香山	常磐	川磐
裕子	裕子	裕子	志穂綾夏	木竜太	正栄	了	人	学	由香里	大川	島田	鈴木	吉見	晃子	美香	矢作	六ヶ	新香山	新香山	新香山	常磐	川磐

◆ 岡崎市小中学生・選舉啓発ボスター

◆ 岡崎市小学生・交通安全の作品

◆ 「ぼくと私の健康」作文コンクール

中村	加藤	杉浦	長嶺	中村	野手	上原	伊藤	北野	小野真美子	越	梨津子	大岡	舟橋	山田	太田	内田	入選	・ 小学校	・ 中学校	・ 小学校	特選	
公彦	史恵	由佳	裕子	祥子	さやか	昭彦	和子	華子	由香里	北野	北野	大岡	舟橋	山田	太田	内田	豊田	浅野	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	横井英里子	橋詰万里子	梅園	梅園	梅園	梅園
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	

高橋	金田	賞	吉本	村井	杉山	榮	杉	野	渡辺	柴田	金原	永田	近藤	太田	中根	銅賞	・ 小学校	・ 中学校	・ 小学校	特選	
実希	大介	賞	有里	美沙	忠尚	梨江	里枝	裕記	麻衣	香織	優	香織	幸菜	聖子	勇志	千恵	銅賞	・ 小学校	・ 中学校	・ 小学校	特選
根梅	岩	連	男	根	上	常	磐	地	矢作	太	矢作	大	細	井	連	北大	羽	美	梅園	梅園	梅園
石園	津	尺	川	石	小	小	小	小	坂	門	坂	樹	田	川	尺	野	門	根	合	小	小
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小

第36回愛知県統計グラフコンクール

・第1部 (小学校1年～3年)

金賞	中原真理 (上地2年)	守山雄太 (三島3年)
	太田好乃 (福岡3年)	稻垣綾香他3名(城南3年)
	伊世祐子 (上地3年)	
銀賞	志村侑香 (三島1年)	菊原由美子 (連尺2年)
	志賀礼 (井田3年)	林弥生他3名(城南3年)
	梶村玲美他3名(城南3年)	
銅賞	小島民人 (連尺2年)	池田奈央子 (三島3年)
	成田道哉他1名(井田3年)	鈴木陽介 (岩津3年)
	加賀澤奈緹他3名(城南3年)	

・第2部 (小学校4年～6年)

金賞	中根玉喜 (三島4年)	長田小波子 (連尺5年)
	早川雅浩 (大樹寺5年)	中根千尋 (三島6年)
	太田聖子 (福岡6年)	
銀賞	田中克典 (三島4年)	山田亮介他1名(三島4年)
	堀季誠他1名(三島5年)	中原規之他3名(上地5年)
	大水勇人 (細川6年)	
銅賞	杉野学 (美丘6年)	鈴木淳也他1名(山中6年)
	宝珠山由香 (上地6年)	別所理子他1名(上地6年)

・第3部 (中学校)

金賞	杉浦仁美他1名(六ヶ美1年)	足立恭子 (葵2年)
	木下京子 (南3年)	大内邦子他1名(岩津3年)
	黒柳晶子 (城北1年)	大西亜衣子他1名(竜海2年)
	杉浦純也他1名(甲山3年)	近藤春奈他1名(城北3年)
銀賞	塙川真太郎他1名(六ヶ美1年)	橘川陽子他1名(美川3年)
	梅村千乃 (岩津3年)	

第25回岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	美川	矢作	竜海
	女	竜海	矢作北	矢作
ソフト	男	矢作	常磐	河合
	女	矢作	竜海	新香山
バレー	男	六ヶ美	竜海	矢作
	女	竜海	矢作北	葵
ボール	男	城北	竜海	新香山
	女	竜海	城北	矢作
バスケ	男	城北	竜海	新香山
	女	竜海	城北	竜海
トボール	男	矢作北	竜海	常磐
	女	竜海	城北	竜海
卓球	男	矢作北	竜海	常磐
	女	常磐	竜海	岩津
体操	男	竜海	甲山	六ヶ美
	女	竜海	甲山	竜海
新体操	男	東海	甲山	竜海
	女	竜海	矢作北	矢作
剣道	男	新香山	竜海	葵
	女	福岡	矢作北	竜海
ハンド	男	美川	竜海	六ヶ美
	女	美川	新香山	竜海
ボール	男	美川	新香山	要
	女	美川	新香山	竜海
柔道	男	竜海	竜海	六ヶ美
	女	竜海	竜海	新香山
ソフトボール	女	葵	竜海	城北
	男	新香山	竜海	矢作北
サッカー	男	新香山	竜海	附属

川崎 良子 友絵
山本 礼美
高橋 陽子
奥村有希代 悠子
佐野 悠子
大門 東 小
福岡 幸 幸
岡幡 幸 幸
岩津 小 小
三島 小 小
川崎 紋 紋
村上 芽衣 上地
竹川 恵 連
特選 尺 小
◆ 「ぼくと私の健康」作文コンクール

軟式野球(男)の結果は、次号でお知らせします。

・表紙写真
・カット

美合小
美川中

三浦敏男
中嶋ゆかり

写真は、市教育委員会・現職教育学校図書館部・市図書館協会が毎年発行している「読書感想文優秀作品集」の創刊号である。昭和四十一年二月に発行された。表題には「コンクール」の文字が記されている。

岡崎市では、昭和三十年に図書館協会が誕生し、読書感想文の問題が取り上げられた。そして、昭和三十四年には東京から講師を招き、「読書感想文の書き方、書かせ方」の講演会を愛宕小で開催するまでになつた。それと同時に、第一回の読書感想

文の募集がなされ、優秀作品については会報の特集として掲載された。特集は、昭和三十九年までに六回発行された後、昭和四十年、会報の特集号から独立して読書感想文コンクール優秀作品集となり現在に至つていて。なお、この事業は、昭和三十四年までは、市現職教育国語部との共催で進められていた。

創刊号には学年別に数点ずつの作品が掲載されている。数多くの応募作品の中から厳選されたのである。審査にあたられた先生方の苦労がうかがわれる。たゞ先輩の苦労がうかがわれる。それとも言えぬ今日このごろである。

岡崎の昔話を伝える寺を巡り歩いた。善男善女で賑わう寺、丘の上でひたすら静寂さを保ち続ける寺、無住寺。様々な姿に時の流れを感じさせる。しかし、そこに託された人々の願いは今も昔も変わることはない。千年後、今の岡崎から、何が昔話として語り伝えられているのだろうか。



十一月十四日は学校休業日。

霜柱を踏む感触を味わうことが少なくなったようだ。季節の変化を感じる機会も減つて。いる。一滴のしづくが大きな石をも割ったのである。審査にあたられた先生方の苦労がうかがわれる。それとも言えぬ今日このごろである。

澄みきつた空のもと、校庭で小さなクモの巣をみつけた。ずっとこの日まで生き延びてきたのだ。思わず、ちょっと指でついてみた。動きはいささか鈍いが、それでも大慌て、一生懸命逃げ惑う。こちらにとつて、ちよつとしたことでも相手にとつては一生懸命。クモだけではなさそうである。



読書感想文コンクール優秀作品集 第1集



*月は東に	森本 哲郎
新潮社	¥1400
*わが愛しき動物たち	中川 志郎
日本放送出版協会	¥1100
*大説でなくして小説	曾野 綾子
P H P 研究所	¥1150
*昭和天皇と秋刀魚	草柳 大蔵
中央公論社	¥1200

※ビジネスマン、生涯の過し方	キングスレイ・カーデ
新潮社	城山 三郎訳 ¥1800

親は子供に何を残していくのか。親としてどのような生涯を生きるのか。命の危険にさらされた著者が自らの体験を通して得た貴重な教訓に感銘を受ける。

著者は、母から受けた強い意志、不屈の精神、父から受けた自然に親しむ心などを最大の遺産として、人生の課題に敢然と挑戦してきた。著者が得た継承すべき価値ある遺産は何か、共感を得る。

激しく変化する将来に向かって、たくましく生きぬく力と知恵を教える。